

事業報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

目次

令和 4 年度 社会福祉法人五倫会 事業報告	4
指定障害者施設 姫路暁乃里（生活介護・施設入所支援）	10
障害福祉サービス事業所 太陽の郷（生活介護/就労 B 型事業所）	25
共同生活援助 チャレンジ（介護サービス包括型）	35
相談支援事業所 ふらっと	40
放課後等デイサービス オリオンまのがた	42
放課後等デイサービス オリオンあなせ	46

令和 4 年度 社会福祉法人五倫会 事業報告

令和 2 年度から約 2 年間も続いたコロナも少し落ち着きを見せ始めた中での、事業継続という 1 年となりました。

令和 2 年より、兵庫県知的障害者施設協会のモデル事業として、「強度行動障害スーパーバイザー養成講座」を 2 年間取り組んできた結果、今年度より、「兵庫県強度行動障害スーパーバイザー養成事業」として県主催事業として事業化されることになりました。事業目的は、「強度行動障害者支援について、地域で安定した生活ができるよう、実践的なコンサルティング方式の研修等により、スーパーバイザーを養成し、地域の生活介護事業所、グループホーム等の支援力向上及び親亡き後を見据えた受け皿の確保を図ること」となっています。

法人の業務管理体制を強化するため、人事・処遇等の諸規定の見直しを継続的に実施した。人財採用については、コロナ禍で苦慮はしたが、大学等の実習生を積極的に受けたり、人材紹介会社等を活用して、新卒採用は 2 名、中途採用は、常勤 2 名、非常勤 8 名の、合計 12 名の職員を確保することができた。

福祉ニーズは複雑化・多様化していますが、地域における公益的な取り組みを実践するなど、社会福祉法人は良質な福祉サービスを提供し、地域社会において中心的な役割を果たす必要があります。そのためには、法人として将来のビジョンを設定し、法人経営の基礎向上を図ることが重要です。

これらの情勢を鑑み、福祉サービスの質の向上に向けた取り組みを行い、地域における福祉の充実・発展に貢献できるよう、下記の各種事業を実施しました。

具体的な活動内容について、以下のとおり報告いたします。

1. 評議員会・理事会の開催

評議員会

開催期日等	決議事項及び報告事項	出席者
令和 4 年 6 月 18 日 10:00～ 太陽の郷	決議事項 第 1 号議案 令和 3 年事業報告及び収支決算(案)について 第 2 号議案 地域生活支援拠点等の事業登録に伴う運営規程の変更(案)について 報告事項 理事長職務執行状況について 姫路暁乃里増築及び大規模改修について	評議員 生嶋、門脇、西川、小西、林、横山(6 名) 監事 松尾(1 名)
令和 5 年 3 月 25 日 10:00～ 太陽の郷	決議事項 第 1 号議案 令和 5 年度事業計画及び収支予算(案)について 第 2 号議案 姫路暁乃里隣接地等取得について	評議員 生嶋、門脇、碓、小西、林、横山(6 名) 監事
	報告事項 理事長の職務執行状況について 報告事項 ● 理事長職務執行状況について ● オリオンまのがた・あなせの実地指導結果について ● オリオンまのがた・あなせの合併について ● 次年度以降の組織体制について ● 地域相談窓口(ひめりんく)開設意向調査について ● 次期役員改選(案)について ● 嘱託医等の契約について	

理事会

開催期日等	決議事項及び報告事項	出席者
令和4年6月3日 18:00～ トラットリア・マーレ	決議事項 第1号議案 令和3年事業報告及び収支決算(案)について 第2号議案 地域生活支援拠点等の事業登録に伴う姫路暁乃里運営規程変更(案)について 第3号議案 定時評議員会の招集について 報告事項 ● 理事長職務執行状況について ● 姫路暁乃里増築及び大規模改修について	理事 服部、田中、益田、濱西、三木(5名) 監事 松尾、内海(2名)
令和4年10月28日 18:00～ トラットリア・マーレ	決議事項 ● 特になし 報告事項 ● 理事長職務執行状況について ● 「みらいの福祉施設建築プロジェクト2022」について	服部、田中、益田、川添、三木(5名) 監事 松尾、内海(2名)
令和5年1月14日 10:30～ 姫路暁乃里	決議事項 ● 特になし 報告事項 ● 理事長職務執行状況について ● 姫路暁乃里増築及び大規模改修について	理事 服部、田中、益田、川添、濱西、三木(6名) 監事 松尾、内海(2名) 評議員 門脇、碓、小西(3名)
令和5年3月17日 18:00～ トラットリア・マーレ	決議事項 第1号議案 令和5年度事業計画及び収支予算(案)について 第2号議案 姫路暁乃里隣接地等取得について 第3号議案 臨時評議員会の招集について 報告事項 ● 理事長職務執行状況について ● オリオンまのがた・あなせの实地指導結果について ● オリオンまのがた・あなせの合併について ● 次年度以降の組織体制について ● 地域相談窓口(ひめりんく)開設意向調査について ● 次期役員改選(案)について ● 嘱託医等の契約について	理事 服部、田中、川添、濱西、三木(5名) 監事 松尾(1名)

2. 事業内容

第一種社会福祉事業

- 障害者支援施設 姫路暁乃里 生活介護 定員 35 名
施設入所支援 定員 30 名

第二種社会福祉事業

- 障害福祉サービス事業 姫路暁乃里 短期入所 定員 4 名
日中一時支援 定員 4 名
- 障害福祉サービス事業 太陽の郷 生活介護 定員 20 名
就労継続支援 B 型 定員 15 名
- 障害福祉サービス事業 チャレンジ 共同生活援助事業 定員 16 名
短期入所（空床型）
- 相談支援事業 ふらっと 一般・指定・障害児相談支援事業
- 障害児通所支援事業 オリオンまのがた 放課後等デイサービス 定員 10 名
- 障害児通所支援事業 オリオンあなせ 放課後等デイサービス 定員 10 名

3. 事業方針

(1) サービス提供基盤の強化と、サービス提供のための人材育成

① 強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修

令和4年度より、「強度行動障害スーパーバイザー養成事業」として3年間、兵庫県から受託することとなり、引き続き社会福祉法人北摂杉の子会より講師を招き、1年間を通じた研修プログラムを実施した。

② 職員の教育体制の充実

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から法人全体での合同研修を実施することはできなかったが、モデル事業で育ったスーパーバイザー候補者が、法人内の事業所を訪問してコンサルティングを実施し、法人全体のサービスの質の向上を目指した。

(2) 職員の能力や個性を生かす組織開発

① 人事制度等の改善

令和4年2月より、収入を3%程度（月額9,000円相当）引き上げることを目的とする事業として、福祉・介護職員臨時特例交付金を実施した。

② リーダー級及び、課長級の階層別研修

法人独自の研修は、実施することはできなかったが、外部研修等学べる機会等を多く提供することはできた。

(3) 利用者の人権擁護・虐待防止のための体制強化

① 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会の設置と開催

法人一括での設置とし、課長・管理者・サビ管が参加し、毎月開催した。

② 虐待防止及び身体拘束等の適正化のための指針整備

指針については、法人一括で整備した。

③ 法人内の全職員に対し、虐待防止、身体拘束等の適正化に関する研修の実施

全施設・事業所に対し、研修を実施した。中途採用の職員へは、その都度、入職前研修において実施した。

(4) 新たな事業の推進と事業領域の開拓

① 姫路暁乃里の増築及び大規模改修

姫路市監査指導課、障害福祉課へ事前相談を行い、令和6年6月の姫路市への補助協議書の提出に向けて、京都の株式会社ゆう建築設計に基本計画を依頼した。

② 高齢化・重度化に対応したグループホーム等の開設

昨年に引き続き、日本財団の「みらいの福祉施設建築プロジェクト 2022」に応募したが、不採択となった。次年度の応募については、再検討することとする。

グループホームについては、太陽の郷の保護者を中心に、開設に向けての説明会を実施し、ニーズ等の確認を行った。

指定障害者施設 姫路暁乃里（生活介護・施設入所支援）

事業計画に目標として掲げていた下記の内容については、概ね実行して達成もしくは継続している。

- 北摂杉の子会 堀内桂氏をスーパーバイザーとして招いて、兵庫県のモデル事業を2年経た後に兵庫県の委託事業（強度行動障害SV事業）として1年が経過した。毎月事例検討会を行って助言・指導を頂くことで、職員がエビデンスに基づいた支援を提供する機会が増えた。利用者の予期不安の軽減を図る（アセスメント→構造化→評価→再構造化する）ことで、利用者が自立してできることが増えてより良い生活に近づいている。また知識を得た職員が生活の中に視覚情報を提供することで自傷・他害件数は1年を通して減少した。
- コロナウイルス感染症について、基本的な感染予防対策（検温・消毒・手洗い・換気・職員のマスク着用）を実施していたが、施設入所者でマスクの着用が難しい現状があり、11月に施設クラスターとなってしまった。しかし、2022年度に1度施設クラスターを経験したこともあり、普段に近いような生活環境の提供に努めた。
- 姫路市内で短期入所を休止している事業所も多い中、積極的な事業運営を継続してきた。また近年介護者の急病や虐待の疑いで緊急短期入所の受入要請の件数が多く、播磨圏域で今年度は6件の緊急短期入所者を受け入れた。その受入実績も認められて、7月より地域生活支援拠点事業所として指定を受けた。
- 人材育成・人材教育については強度行動障害SV養成事業・OJT・Off-JTを基本として実施した。また自閉症・高齢者・ダウン症チームを作り、各チームで勉強会をして自己研鑽をし、職員会議で発表の機会を設けて専門性・支援技術の向上に努めた。人材確保については、専門性が向上することで支援に対する結果が見え始めたことにより仕事への意欲が向上し、職場の雰囲気・意見の言い合える風通しの良い職場となっており、それに伴って正規職員の退職者は0人であった。

事務関係・施設設備管理業務報告

定例業務

保健衛生	事務関係
給食担当職員検便（月1回） 体重測定（利用者・月1回） 検温・血圧測定（利用者・随時） 健康診断（利用者年1回、職員年2回） エアコン、網戸清掃（年3回） 窓、換気扇、ベランダ、乾燥機清掃（毎月第4土曜日） 床清掃、タンス整理（週1回）	介護給付費（施設入所支援、生活介護、短期入所）請求 訓練給付費（共同生活援助事業）請求 地域生活支援給付費（日中短期入所）請求 計画相談給付費請求 障害児相談支援給付費請求 本部・施設会計試算表 預金・小口預金 取引業者支払（末日締め、翌月払い） 福祉・介護職員処遇改善 計画書 実績報告書提出 社会福祉施設職員退職共済 掛金納付対象職員届提出 利用者負担金請求 振替 障害者年金振込確認（偶数月） 職員の労務管理 介護給付費等支給申請書提出 市民税 県民税申請書提出 利用者小遣い 利用者預かり金確認報告（年4回）

施設設備管理業務

点検箇所等	内容	担当業者
消防用設備点検	総合点検 機器点検	関西ホーチキエンジニアリング(株)
フリーロックシステム	保守点検（年1回）	(株)JEI
昇降機	定期点検（年4回）	(株)日立ビルシステム
自家用電気設備点検	定期点検（隔月）	（一財）関西電気保安協会
貯水槽洗浄消毒・水質検査	定期清掃	(株) 姫路洗管
雑排水洗管工事（全館）	清掃（年1回）	
洗管工事（グリストラップ）	定期清掃（年3回）	
浄化槽	保守点検（毎月2回） 汚泥引抜	(株) アクアプラス
水質検査	検査（年1回）	（一社）兵庫県水質保全センター
床洗浄・ワックス（全館） エアコン分解薬品洗浄（全館）	清掃	フロンティア
害虫駆除	ゴキブリ駆除（厨房内） 定期点検（厨房内）毎月月末に実施	エース消毒（株）
利用者大掃除	清掃（12月）	利用者、職員
マット交換 マット交換（トイレ前のみ）	交換（4週間に1回） 交換（2週間に1回）	(株) ユニマットライフ

行事等実施報告

日常生活に変化をつけるため、行事を行うことで季節感を感じてもらい、身体機能の維持・脳の活性化・コミュニケーションの促進を目的に支援を行った。コロナ禍の新しい生活様式の中で、感染状況を確認しながら外出する機会を年々増やしている。また少人数での外出の機会を増やし、個別支援に努めた。体操教室や音楽療法が休止中であるため、館内で楽しめる行事や活動を増やした。

1. 定例行事

内容	日時
アルミ缶回収	毎週木曜日 午前
真砂園パン購入	毎週水曜日 午後
体操教室（休止中）	第2・3・4・5火曜日 午後
太鼓教室	第2金曜日 第4土曜日 午前
音楽療法（休止中）	第1・3金曜日 午前
高谷さん音楽	第2・3・4水曜日 午前

2. イベント行事

期日	行事内容	場所	担当者
4月4日	観桜会	太陽の郷・姫路暁乃里	川添理
4月5日	希望外出	コンビニ・パレット・餃子の王将	大澤
5月11日	希望外出	靴のサンダー・しまむら	児島

5月13日	希望外出	ムサシ・しまむら・焼肉力	橋本・川添理
5月21日	希望外出	ダイレックス・一番星・力丸	久保田
5月26日	希望外出	ヤマダ電機	濱田
6月2日	希望外出	BOX・亜蔵・えぷろん	蔭西・木津
6月23日	希望外出	リバーシティー・スシロー	大澤
6月27日	希望外出	木曽路	川添京・宮元・川田
7月5日	希望外出	ダイレックス・一番星・力丸	久保田
7月5日	希望外出	甲子園球場	西村
7月7日	七夕会	姫路暁乃里	川添理・香山・木津
7月25日	避難訓練	姫路暁乃里	小林
8月28日	希望外出	焼肉力	濱田
9月5日	希望外出	リバーシティー	橋本
9月7日	夏祭り	姫路暁乃里	川添理・木津・香山
9月8日	希望外出	ダイレックス・一番星・力丸	久保田
9月21日	希望外出	オリオンあなせ	西村
10月21日	希望外出	リバーシティー・スシロー・マルアイ	川添理
10月22日	希望外出	リバーシティー・ユニクロ	小林・脇坂
10月25日	避難訓練	姫路暁乃里	小林
10月31日	ハロウィン	姫路暁乃里	木津・香山
11月29日	希望外出	ダイレックス・ヒラキ・ずんどう屋	久保田
12月12日	希望外出	靴のサンダー・アスパ	児島
12月20日	希望外出	そよ美容院・ガスト・リバーシティー	川添京
12月23日	クリスマス会	姫路暁乃里	川添理・木津・香山
12月26日	希望外出	リバーシティー・スシロー	大澤
1月4日	希望外出	ダイレックス・力丸	久保田
2月2日	希望外出	リバーシティー	川添理
2月3日	節分	姫路暁乃里	川添理・木津・香山
2月14日	バレンタイン	姫路暁乃里	香山
2月17日	希望外出	さくらサーカス・ごちそう村	久保田・脇坂
2月18日	希望外出	リバーシティー・スシロー	大澤
2月22日	希望外出	神戸どうぶつ王国	川田・木津
3月14日	希望外出	そよ美容院・ごちそう村	川添京
3月16日	希望外出	リバーシティー	玉井
3月20日	希望外出	ドン・キホーテ・リバーシティー・白十字	川添理・内藤
3月22日	希望外出	ダイレックス・力丸	久保田
3月24日	避難訓練	姫路暁乃里	小林

職員研修報告

1. 施設外研修

コロナウイルス感染症感染予防のため、施設外研修はリモート研修を中心に研修の機会を設け、職員の支援技術の向上を図った。施設で特に力を入れている自閉症（特に強度行動障害）・人材育成等に研修への参加機会が多かった。また支援の質の高い先進的な事業所への見学も実施した。施設内研修においては、各職員を分野（自閉症・ダウン症・高齢者）でチームに分けて、パワーポイントで資料を作成して職員会議にて発表する機会を設けた。

期日	研修名	場所	参加者
5月13日	強度行動障害支援研修会	丹波市役所	小林
5月20日	社会福祉法人京都ライフサポート協会見学	社会福祉法人京都ライフサポート協会	灘・森本・蔭西
6月11日	PECS ワークショップ レベル1	姫路暁乃里(リモート研修)	久保田
6月12日	PECS ワークショップ レベル1	姫路暁乃里(リモート研修)	久保田
6月15日	園芸療法実践講座	西播磨総合リハビリテーションセンター	西村
7月1日	職場研修推進セミナー	姫路暁乃里(リモート研修)	大澤
7月7日	清水基金 国内研修事業	姫路暁乃里(リモート研修)	西村
7月27日	スーパーバイズを活用した支援	姫路暁乃里(リモート研修)	児島
8月6日	行動援護従事者養成研修（1日目）	姫路駅南T A I H Oビル	濱田
8月16日	感染症対策研修	姫路市市役所北館2階	宮元・川添京
8月22日	行動援護従事者養成研修（2日目）	姫路駅南T A I H Oビル	濱田
8月26日	障害者虐待対応力向上研修	姫路暁乃里(リモート研修)	香山
8月28日	行動援護従事者養成研修（3日目）	姫路駅南T A I H Oビル	濱田
9月21日	リーダーシップ研修	姫路暁乃里(リモート研修)	児島
10月4日	リスクマネジメント研修	兵庫県福祉人材研修センター	橋本
10月6日	障害者虐待対応力向上研修 B研修	兵庫県立姫路労働会館	香山
10月24日	感染症対策研修	姫路市市役所北館	宮元
11月10日	県知協支援スタッフ委員会研修会	姫路暁乃里(リモート研修)	森本・松田
11月29日	三木光司園 見学	三木光司園	森本・蔭西
1月10日	強度行動障害SV養成事業 事例検討会参加	社会福祉法人陽気会	児島・小林
1月22日	兵庫県知的障害者施設協会 アセスメント研修会	姫路暁乃里(リモート研修)	川添理・久保田
2月1日	障害のある人の生活支援を考える	姫路暁乃里(リモート研修)	川添京
2月22日	在宅医療勉強会 姫路市の救急搬送システムの運用状況と 救急の現状について	姫路暁乃里(リモート研修)	宮元
3月2日	養護老人ホーム高砂荘 見学	高砂荘	川田・宮元

2. 施設内研修

期日	内容	参加者
4月	PECS 勉強会・日中活動について・業務について	職員
5月	強度行動障害SV養成事業について・衣類管理について	職員
6月	PECS 勉強会	職員
7月	自閉症チーム勉強会・PECS 勉強会・避難訓練	職員・利用者
8月	高齢者ダウン症チーム勉強会・個別支援計画について	職員

9 月	高齢者チーム勉強会・日中活動について	職員
10 月	虐待防止、権利擁護について・感染症研修	職員
11 月	新型コロナウイルス感染症の対応のため中止	職員
12 月	増改築計画について・AED 講習会	職員
1 月	事例発表会、コンサル状況報告について	職員
2 月	空間の構造化について	職員
3 月	オムツの使用方法についての研修・避難訓練	職員・利用者

実習生受入報告

昨年度と同様にコロナウイルス感染症感染拡大に伴い、多くの学生が他施設での実習を断られており、障害福祉を体験して学びを得る機会を作るため、大学・短大からの依頼に対して積極的に受け入れた。昨年度は13名に対して15名に増加した。実習を通じて福祉専門職に対しての重要性、障害福祉の意義や社会的役割を学んでもらいました。人材確保の面でも実習を通じて障害福祉に興味を持つ学生も多く、実習後にアルバイト雇用として採用予定の学生もあり、人材確保にも繋がった。

学校名	期間	人数
神戸常盤大学 教育学部 こども教育学科	①2022年4月7日～4月20日 ②2023年2月13日～2月24日 (10日間)	①1名 ②3名 計4名
関西福祉大学 教育学部	①2022年 8月15日～8月26日 ②2022年 9月19日～9月30日 ③2022年10月3日～10月15日 (10日間)	①3名 ②3名 ③1名 計7名(宿泊実習)
夙川学院 神戸教育短期大学 こども学科	①2022年9月5日～9月16日 ②2022年9月20日～9月30日 (10日間)	①2名 ②2名 計4名
合計		15名

資格取得者

資格取得	人数(総取得者数)
介護福祉士	(8)
保育士	1 (4)
社会福祉主事	(3)
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	(7)
強度行動障害支援者養成研修(実践)	(6)
知的障害援助専門員	(1)
喀痰吸引等研修終了	(2)
行動援護従事者養成研修	1(10)

姫路暁乃里(施設入所・生活介護)日課

近年、利用者の高齢化・重度化に伴い利用者個々に合わせた支援が必要になっている。意思決定支援を念頭に置きながら、障害特性やニーズに合わせた支援提供を行った。基本的には生活習慣の確立、利用者の要望や各々の課題に沿った自立課題等を職員が考察し、提供する事で自立や生活意欲の向上、健康維持に繋がる活動を提供した。

時間	平日	休日
6:30	起床、整容	起床、整容
7:45	朝食準備	朝食準備
8:00 ～ 9:15	朝食 歯磨き 洗濯 清掃 朝礼 日中活動ボード作成 ラジオ体操 館内ランニング	朝食 歯磨き 洗濯 清掃 朝礼 日中活動ボード作成 ラジオ体操 館内ランニング
9:30	引継ぎ	引継ぎ
10:00 ～ 11:30	作業 機能訓練 習字・編み物 メイク・ネイル 散歩 オミピスタ シーツ交換 居室整理（火曜日） 高谷さん音楽（第2・3・4水曜日） 缶回収（木曜日）太鼓教室（第2金曜日）	余暇 ドライブ、カラオケ 居室整理 衛生チェック 太鼓教室（第4土曜日）
12:00	昼食 歯磨き	昼食 歯磨き
13:00 ～	バイタル測定 体操教室（火曜日）※休止中 真砂園パン（水曜日） 女性利用者入浴 男性利用者入浴	バイタル測定 余暇 女性利用者入浴 男性利用者入浴
16:00	引継ぎ 余暇	引継ぎ 余暇
18:00	夕食 歯磨き	夕食 歯磨き
20:00 ～ 22:00	就寝準備 自由時間 消灯 2時間おきに巡室	就寝準備 自由時間 消灯 2時間おきに巡室

利用者状況

【入所】年齢別利用者数

（2023年3月31日現在）

年齢（歳）	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	合計（人）
男性	0	2	4	7	1	1	1	16
女性	0	0	3	4	5	1	1	14
合計	0	2	7	11	6	2	2	30

【入所】利用者平均年齢

	男性	女性
最小年齢	23歳11ヶ月	31歳
最高年齢	76歳2ヶ月	75歳3ヶ月
平均年齢	43歳2ヶ月	49歳1ヶ月
男女平均年齢	45歳11ヶ月	

【生活介護】年齢別利用者数

(2023 年 3 月 31 日現在)

年齢（歳）	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	合計（人）
男性	0	4	4	8	1	1	1	19
女性	0	0	3	6	7	2	1	19
合計	0	4	7	14	8	3	2	38

【生活介護】利用者平均年齢

	男性	女性
最小年齢	21 歳 5 ヶ月	31 歳
最高年齢	76 歳 2 ヶ月	75 歳 3 ヶ月
平均年齢	41 歳 2 ヶ月	49 歳 10 ヶ月
男女平均年齢	45 歳 8 ヶ月	

【生活介護】利用者支援区分

障害支援区分	3	4	5	6	合計（人）
人数	0	5	16	17	38

※月平均利用定員35名

医療機関受診状況

嘱託医師による毎月の往診、姫路市医師会による健康診断で血液検査、心電図、胸部レントゲン、検尿、検便等を実施し、利用者の健康管理に努めた。看護師も3名体制となり、早期発見・早期治療に繋がることで入院件数は2件と減少した。

コロナウイルス感染対策として、手洗い、うがい、換気の励行、温度・湿度の管理、館内の消毒を徹底し、職員は出勤前・出勤時の検温、常時マスク着用、来訪者は施設に入る前に検温を実施して水際対策に努めた。3, 4回目のコロナワクチン接種も実施した。しかし施設入所者でマスク着用が難しい利用者が多い現状もあり、11月に施設内でコロナウイルス感染拡大に至ってしまった。

通院状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (人)
内 科	8	2	9	7	8	1	5	0	7	1	7	5	60
外 科	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	4	0	9
整 形 外 科	3	3	2	8	4	1	9	2	2	5	7	3	49
形 成 外 科	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
循 環 器 科	0	1	1	3	0	1	0	0	1	0	1	0	8
脳 外 科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
泌 尿 器 科	2	2	1	1	1	0	2	1	0	1	2	4	17
皮 膚 科	9	2	2	4	1	6	6	0	4	1	5	4	44
歯 科	9	6	10	12	7	6	9	3	9	10	9	11	101
婦 人 科	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4
消化器胃腸科	4	1	2	11	7	1	3	0	3	0	2	0	34
精 神 科	12	14	13	16	12	13	15	8	16	12	23	14	168
眼 科	3	4	5	8	3	9	0	3	7	4	3	6	55
呼 吸 器 科	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	1	7
神 経 内 科	6	3	8	6	8	4	8	3	4	7	10	6	73
耳 鼻 科	4	0	0	0	0	0	0	5	2	2	0	1	14
予 防 接 種	0	0	30	0	0	0	0	22	7	0	28	0	87
合 計	62	38	86	77	54	43	61	47	63	44	103	55	733

入院状況

医療機関名	人数（病名）	期間
順心病院	1名（発作・低ナトリウム血症）	2022年9月12日～9月26日
姫路聖マリア病院	1名（右足変形性足関節手術）	2022年10月31日～12月29日

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
あだちこども診療所（嘱託医）	てんかん診療・小児科	加古川市加古川町美乃利 465-1	079-423-2567
中村整形外科	整形外科	高砂市北浜町西浜 282-4	079-254-5533
姫路第一病院	内科・外科 整形外科・循環器科	姫路市御国野国分寺 143	079-252-0581
高砂西部病院	総合病院	高砂市中筋 1 丁目 10 番 41 号	079-447-0100
山本歯科医院	歯科	姫路市大塩町宮前 28 番地	079-254-6966

利用医療機関

医療機関名（50 音順）	診療科	所在地	電話
赤松眼科	眼科	姫路市御国野町国分寺 827-3	079-253-3435
安積外科胃腸科医院	外科・消化器外科・ 内科・肛門外科	姫路市砥堀 45-1	079-264-1155
いのうえ皮ふ科	皮膚科	姫路市別所町佐土 2-61	079-252-4112
魚橋病院	精神科	相生市若狭野町若狭 235-26	0791-28-1395
尾上眼科	眼科	姫路市元塩町 142-1	079-223-0559
姫路市歯科医師会口腔センター	歯科	姫路市安田 3 丁目 107	079-288-5896
順心病院	脳神経外科 神経内科・整形外科	加古川市別府町別府 865-1	0794-37-3555
仁恵病院	精神科	姫路市野里 275	079-281-6980
製鉄記念広畑病院	総合病院	姫路市広畑区夢前町 3- 1	079-236-1038
高砂市民病院	総合病院	高砂市荒井町紙町 33-1	0794-42-3981
寺田内科呼吸器科医院	内科・呼吸器科	姫路市城東町五軒屋 3-6	079-285-0111
土井医院	内科	姫路市の形町の形 1761-20	079-254-0732
中野診療所	皮膚科	姫路市白浜町甲 2138	079-246-0501
播磨大塩病院	精神科	姫路市大塩町 1096	079-254-0321
東ひめじ腎泌尿器科クリニック	泌尿器科	姫路市日出町 3-38-1 東姫路駅 前メディカルプラザ	079-287-9188
姫路北病院	精神科・心療内科	神崎郡福崎町南田原 1134 番地 2	0790-22-0770
姫路聖マリア病院	総合病院	姫路市仁豊野 650	079-265-5111
山本歯科	歯科	姫路市大塩町宮前 28	079-254-6966

事故・ヒヤリハット

今までは強度行動障害者の情緒不安定時に突発的な他害行為による事故報告が多かったが、近年てんかん発作・高齢・重度化による転倒や怪我が多かった。館内に設置している安全カメラによる事故検証や小さな事故や怪我でも事故報告やヒヤリハットを提出してもらうことで、職員はリスクマネジメントする意識を持って迅速な対応をとっており、重大事故には至らなかった。また、てんかん発作を有する利用者の居室にはプライバシーに配慮した赤外線カメラを設置し、夜間の睡眠状況や就寝時の落下事故による怪我を防ぐようハード面でも配慮した。

事故内容	件数
(自らによる) 怪我・転倒	12
(他者による) 怪我・転倒	5
誤嚥	1
誤薬 (投薬忘れ含む)	6
その他 (発作含む)	5
合計	29

ヒヤリ内容	件数
(自らによる) 怪我・転倒	0
(他者による) 怪我・転倒	0
誤嚥	0
薬関係	2
その他	0
合計	2

苦情の集計件数

今年度の苦情は0件であった。利用者および家族からの苦情に対し、適切な解決に努め、より良いサービスに繋げていけるようにする。

苦情種別・申出人の集計

申出人	苦情	その他
利用者	0	0
家族	0	0
代理人	0	0
職員	0	0
その他	0	0
合計	0	0

作業報告

作業種目・内容

作業種目	作業内容
空き缶作業	毎週木曜日、地域の方々のご協力のもと缶を回収した。道中で出会う地域の方との挨拶、地域交流に繋がっている。集めた缶はリサイクル業者に納品した。段ボール、新聞の回収も行っている

作業売上

単位：円

月	空き缶作業： 安田商店
4月	1,600
5月	2,320
6月	0
7月	2,880
8月	2,250
9月	0
10月	3,330
11月	2,610
12月	3,420
1月	0
2月	3,600
3月	0
合計	22,010

余暇活動報告

周囲との協調性や自己のパフォーマンスを向上させる為に体操教室、太鼓教室、音楽療法を実施した。生活・日中活動支援を進めていく中で、余暇活動の充実の一環として行い、それを利用者が楽しみ、また生活の張りとなるような機会の提供を行った。

1. 体操教室 ※休止中

目的：緊張を緩め、正しい姿勢の保持を身に付けることにより身体意識を高める。基礎的な運動能力を養うとともに社会性豊かに心身の調和的な発達と人間形成の基礎作りを目的とする。

内容：誰でもできて無理のない、バランスがよく動きやすい体になり、歩きやすくなる等利用者の健康維持・元気に明るく楽しむことを心がけ行った。

講師	教室日	時間	参加者
(株)エヌ・エス・アイ	毎月第2・3・4火曜日	14時～15時	利用者・職員

2. 太鼓教室

目的：太鼓の音、心と体を解き放ち、表現する喜びと楽しさを感じてもらう。また自立心の向上・責任感・協調性を養うことを目的とする。

内容：「民謡集団 鯨」様の指導の下、毎回十数名が楽しく活動を行った。楽しい雰囲気の中活動を行う事ができた。

講師	教室日	時間	参加者
民謡集団 鯨	毎月第2金曜日 第4土曜日	10時～11時	利用者

3. 音楽療法 ※休止中

目的：心身のリラックス、他人とのコミュニケーションや関わり方を学ぶ、表現力を養うことで自分の意思や感情を示せるようになる。音楽を通して「はじまり」と「終わり」を学ぶことで法則性を身につける事ができる等の効果が期待できる。

内容：カスタネットやタンバリンなどの簡単な楽器を使用して、それぞれ自分に合った音楽表現、個々の能力にあった楽しみ方ができた。

講師	教室日	時間	参加者
兵庫県認定音楽療法士会 増井先生・住野先生	毎月第1・3金曜日	10時～11時半	利用者

日清医療食品株式会社

「日々の食事を通じ、健康と笑顔へと繋げる」をモットーに食事サービスを実施しました。

今年度より昼食時の毎日の選択メニューの提供を月2回の選択メニューへと変更し、新たな取り組みとして、月2回ティータイム時に手作りおやつを提供や季節の果物を取り入れて今まで食べたことがなかった食材にも触れて頂きました。

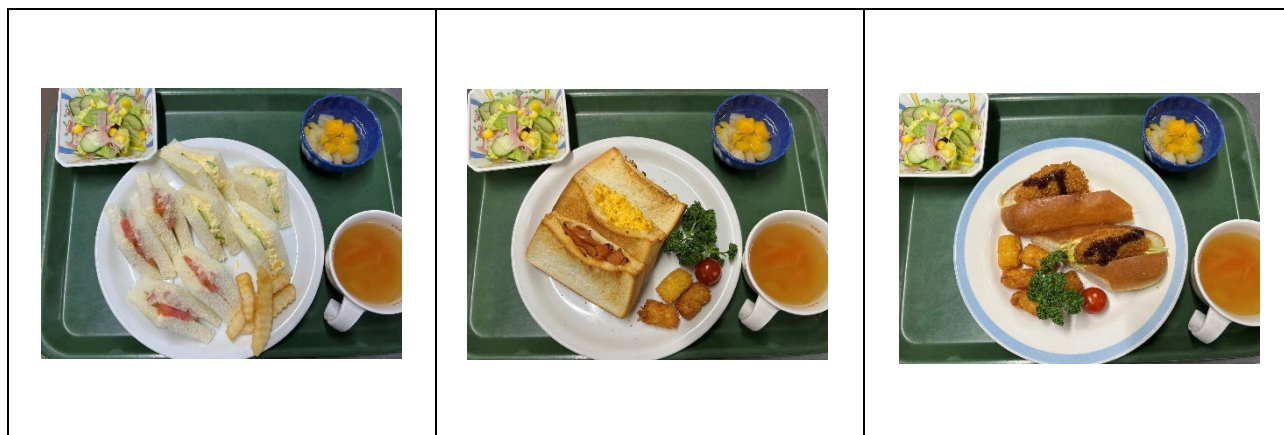
また障害の程度、年齢に応じた食形態の工夫や自助具の使用等、個別対応にも注力しました。

利用者様の健康と笑顔が絶えない様に、日々の食事をバランス良くバラエティーに富んだ工夫を行い、新たな取り組みや創意工夫を重ねて、利用者様を支えていけるような食事サービスを提供していきます。

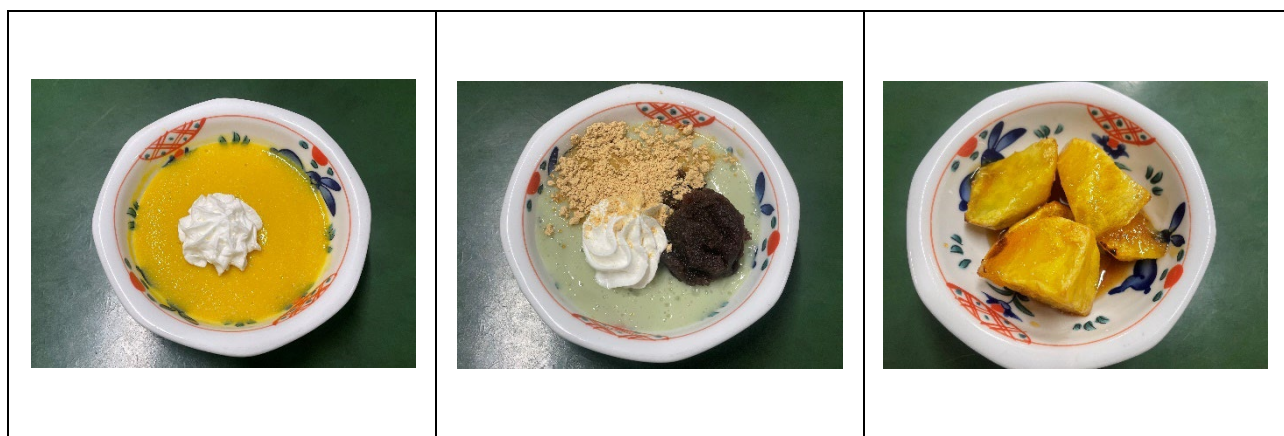
（１）利用者様の選択肢を広げるため、複数献立を実施

選択メニュー（月2回の昼食で実施）複数献立を3種類の中から選んでいただく。

例①

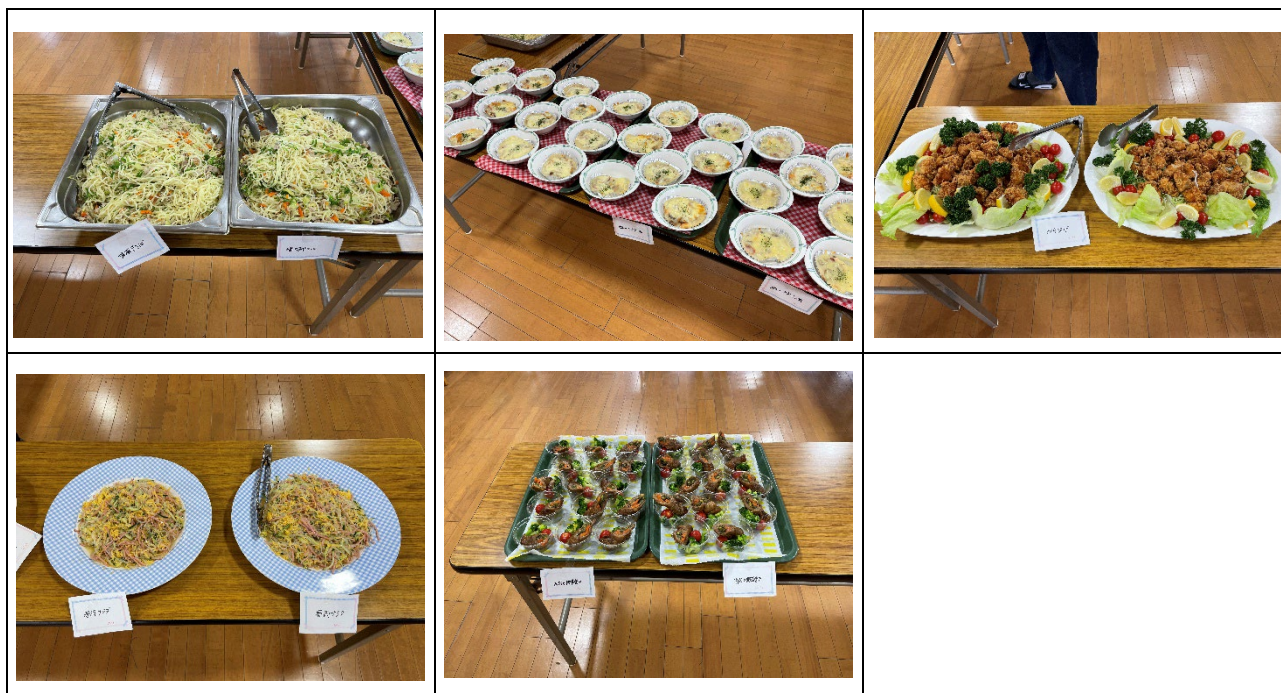


（２）ティータイム時の手作りおやつ（月2回実施）



(3) バイキング食（イベント食）

多種類の料理の中から、好きなものを選んで自分自身で取り分けて食べていただく。



(4) 行事食

四季折々の旬の食材を使用し、利用者様が季節を食事から感じてもらえるようなメニューを考案した。

4月	お花見	10月	
5月	こどもの日	11月	バイキング
6月	バイキング	12月	クリスマス
7月	七夕	1月	お正月
8月		2月	節分
9月		3月	ひなまつり



障害福祉サービス事業所 太陽の郷（生活介護/就労 B 型事業所）

事業計画に目標として掲げていた内容では、2 事業ともに下記の通り概ね達成することが出来た。

- 新型コロナウイルス感染症対策（検温、消毒、換気、手洗い）を徹底し、これまでの制限ある生活からの回復を目指し、行事の企画や実施を行った。行事毎に皆さん楽しみにされている様子があり、笑顔の増えた一年となった。また、専門的知識の向上に向けて姫路暁乃里職員によるスーパーバイズを受け、研修を重ねることで支援の考え方が浸透した。利用者を知るためのアセスメントを実施し次年度に向けての基礎作りに努めた。
- 生活介護事業では、「兵庫県障害者アートギャラリー常設展示」を 10 月から 12 月の 3 ヶ月間で開催した。絵画クラブ講師西ノ原先生に協力いただき、展示作品の選出から会場の設置まで、職員が一丸となって開催に向かうことが出来た。また、展示会場に行き自分たちの作品が飾られているところを見学することで笑顔が見られ、その後の作品製作意欲に繋がっている。
- 就労継続支援 B 型事業では、各関係企業に積極的に声をかけていくことで受注に繋がった。除草作業では企業や他法人施設からも依頼をいただき利用者の活躍の場となった。ごりんやでも季節の行事に合わせてメニューを開発に努め SNS 等で発信し売り上げの向上に努め、利用者の方に月平均工賃 35,379 円を支払うことが出来た。また、利用者の働き方について改めて考える機会があり、職員間でも話を重ね作業工程の見直し、自助具の工夫を初めに、日々の作業目標を自ら設定し取り組むことで意識の向上に繋がっていきけるように努めた。

事務関係・施設設備管理業務報告

定例業務

保健衛生	事務関係
嘱託医往診（利用者・月 1 回） 体重測定（利用者・月 1 回） 血圧測定（利用者・月 1 回） 健康診断（職員・年 1 回）	介護給付費（生活介護、就労継続支援 B 型）請求 本部・施設会計試算表 小口預金 取引業者支払（末日締め、翌月払い） 福祉・介護職員処遇改善 計画書 実績報告書提出 社会福祉施設職員退職共済 掛金納付対象職員届提出 利用者負担金請求 振替 介護給付費等支給申請書提出 市民税 県民税申請書提出

施設設備管理業務

点検箇所	内容	担当業者
消防用設備点検	総合点検 8/23 機器点検 2/7	安立防災株式会社
昇降機	定期点検 毎月	東芝エレベータ株式会社
浄化槽	毎月	(株) アクアプラス
水質検査	年 2 回	(一社) 兵庫県水質保全センター
食堂衛生管理	毎月	衛生管理株式会社

行事等実施報告

利用者の希望を取り入れながら実施した。新型コロナウイルス感染症予防対策として、施設外での行事は控えたが、施設内で楽しんでもらえるように今までと違った会場づくりをするなど工夫し実施した。

1. 定例行事

内容	日時
音楽クラブ	第1、第3金曜日
太鼓クラブ	第3金曜日
絵画クラブ	月2～3回
レッツゴークラブ	月2回

2. イベント行事

期日	行事内容	場所
6月7日	お楽しみ外食	うまいもん横丁姫路東店
6月15日	お楽しみ外食	びっくりドンキー姫路飾磨店
6月30日	送別会&慰労会	太陽の郷玄関前広場
7月7日	七夕お楽しみ会	太陽の郷スマイルルーム
7月22日	お楽しみ外出	姫路水族館
8月4日	お楽しみ外食	樹家
9月16日	お楽しみ外出	ステーキハウス ジャンプ白浜店
11月25日	兵庫県障害者アートギャラリー第9回常設展	兵庫県立美術館 王子分館
12月14日	兵庫県障害者アートギャラリー第9回常設展	兵庫県立美術館 王子分館
12月14日	忘年会	しゃぶ葉
12月23日	クリスマス忘年会	太陽の郷 スマイルルーム
1月11日	成人式	太陽の郷 スマイルルーム
2月3日	節分	太陽の郷 スマイルルーム
2月20日	お楽しみ外出	ベビーフェイスプラネッツ
3月3日	第18回兵庫県障害者芸術・美術工芸作品公募展 見学	兵庫県立美術館
3月14日	かんでん・コラボアート 表彰式	太陽の郷 スマイルルーム
3月16日	作品展 見学	イーグレひめじ

職員研修報告

1. 施設外研修

職員の知識や支援に対する意識の向上を図れるよう努めた。新型コロナウイルス感染症の影響でWEB研修が増えたことで、今まで就業時間等の都合で研修を受けることが出来なかった職員も参加することが出来、支援に取り組む姿勢に変化が見られた。また、施設での発表の時間をもち、職員間での共有にも努めた。

期日	研修名	場所	参加者
6月20日	新任職員研修	姫路市総合福祉会館	上田
8月12日	令和4年度 第2回職業自立センター 障害者支援の醍醐味を知ろう	オンライン研修	上田
8月24日	第36回播磨地区知的障害者施設長・職員合同 研究会	アクリエ姫路	白井
11月22日	令和4年度農福連携先進事業等訪問事業	ポプラの家 丹南精明園	白井、柴田
11月25日	2022年度障がい者の働く場パワーフォーラム	オンライン研修	白井、廣岡
12月15日	ひめされん 虐待防止研修	オンライン研修	青木、笹本、鏡山
1月24日	「身体拘束をしない支援」	オンライン研修	笹本
2月6日	令和4年度姫路市社会福祉施設協議会研修	姫路市勤労市民会館	白井
2月27日	中播磨 農福連携ネットワーク会議	中播磨県民センター5階	白井
3月6日	2022年度強度行動障害スーパーバイザー養成 事業における実践報告	オンライン研修	白井、笹本
3月15日	兵庫県障害者アートを活用した商品開発オン ラインセミナー	オンライン研修	白井、清水
3月17日	就労支援フォーラム NIPPON～就労選択支 援、代行ビジネス、アセスメント～	オンライン研修	柴田、廣岡

2. 設内研修

利用者支援に関する話を多く実施してきた。個別対応の必要性や、状況に応じた支援、意思決定等、職員間でのしっかりとした共有と統一支援を目指していく上での大切な機会として実施した。

期日	研修内容	講師・他	参加者
4月20日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、内田
4月28日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
5月18日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、内田
5月27日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
6月23日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、内田
6月23日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
6月16日	工賃検討会議	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
7月20日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、大橋、 内田

7月21日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
8月5日	個別支援計画書会議	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、大橋
8月16日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、大橋、内田
8月18日	個別支援計画書会議	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
8月25日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
9月 日	工賃検討会議	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
9月22日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、内田
9月22日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
10月20日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、内田
10月20日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
11月16日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、内田
11月17日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
12月15日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
12月22日	工賃検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
12月27日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、内田
1月17日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、内田
1月19日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
1月21日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、内田
2月16日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
2月20日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、内田
3月7日	個別支援計画書会議	就労	白井、熊田、柴田、廣岡、
3月9日	個別支援計画書会議	生活	白井、濱本、清水、高田、内田
3月10日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
3月24日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、内田
3月28日	工賃検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
処遇チェック	利用者に対する支援等についての自己評価と上司評価の確認。改善策等の検討等。	各事業所	全職員対象で毎月実施

実習生受入報告

2022 年度 実習生受入れ実績なし

資格取得者

取得資格	人数(総取得者数)
介護福祉士	0 (4)
保育士	0 (1)
社会福祉主事	0 (4)
強度行動障害支援者養成研修 (基礎)	0 (1)
強度行動障害支援者養成研修 (実践)	0 (2)
行動援護従事者養成研修	0 (6)

太陽の郷(生活介護・就労継続支援B型)日課

生活介護：活動の場を余暇と作業に分けている。集団での活動に加え、個々の特性や興味の違い等を考慮しながら一日のプログラムを考えて提供した。

就労継続支援B型：登所から降所まで、利用者それぞれが自分の動きを理解して行動出来る様な声掛けや、予定表の掲示、個々に作業目標を設定しながら一日のプログラムを考えて提供した。

生活介護	時間	就労継続支援B型
登所 朝礼・ラジオ体操	9:00 9:30	登所 朝礼
作業・活動 休憩 作業・活動	9:35 10:30 10:35 10:45 10:50	作業 休憩 作業
昼食・休憩	11:50 12:00	昼食・休憩
歯磨き 作業 休憩 作業 掃除・終礼 降所	12:40 12:50 13:00 13:30 13:45 14:00 15:00 15:30	掃除 作業 休憩 作業 掃除・終礼 降所

利用者状況

【生活介護】年齢別利用者数

年齢（歳）	18～20	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	合計（人）
男性	1	2	5	4	2	0	14
女性	0	0	2	3	3	0	8
合計	1	2	7	7	5	0	22

【就労継続支援B型】年齢別利用者数

年齢（歳）	18～20	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	合計（人）
男性	0	3	3	5	0	0	11
女性	0	1	0	4	1	0	6
合計	0	4	3	9	1	0	17

利用者平均年齢

	男性全体	女性全体	生活介護	就労B
最少年齢	20歳7ヶ月	26歳3ヶ月	20歳7ヶ月	22歳4ヶ月
最高年齢	52歳9ヶ月	57歳3ヶ月	57歳3ヶ月	55歳9ヶ月
平均年齢	36歳8ヶ月	43.1歳0ヶ月	-	-

男女平均年齢	38 歳 5 ヶ月	39 歳 4 ヶ月	37 歳 5 ヶ月
--------	-----------	-----------	-----------

利用者支援区分

【生活介護】利用者支援区分

区分	なし	1	2	3	4	5	6	合計（人）
人数	0	0	0	2	8	8	4	22

【就労継続支援 B 型】利用者支援区分

区分	なし	1	2	3	4	5	6	合計（人）
人数	0	0	4	8	4	1	0	17

医療機関受診状況

科目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計（人）
整形外科	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
中村整形外科（嘱託医）	整形外科	高砂市北浜町西浜 1208-75	079-254-5533

事故・ヒヤリハット

今年度、事故が 4 件、ヒヤリハットが 1 件あった。施設外作業では作業前の安全と考えられた場所での転倒による怪我があり、より一層の安全確認の徹底、事故発生時の対応を明確化することでより意識を高めて作業に向かうようにした。安心安全な支援を実施する上で、それぞれに下記のような対応策を考え、改善に努めた。

1. 事故報告

No	事故内容	対応策
1	施設外作業（除草）の現場にて、斜面で転倒し打撲・擦り傷の怪我を負った。	職員が事前に作業現場の危険個所の確認を行い、危険認識の難しい利用者については職員が作業場を選定し、安全に作業を行えるようにした。
2	手洗い場の床で足を滑らし、ドアの角に額を打ち付け出血をとまう怪我を負った。	手洗い場で洗髪することで床が濡れ今回の怪我に繋がった。洗髪する場所ではないことを視覚的に提示し伝え、理解を得るようにした。
3	活動参加時に左ひじに擦り傷の怪我を負った。	活動準備時は見守りが不足してしまう為、職員 2 名で対応にあたり、1 名は見守りに徹底した。
4	迎え忘れにより、利用者さんを 30 分集合場所で待たせてしまった。	前日の終礼時に、送迎の変更等も含め全体周知した。また、送迎車の発車を確認しやすいように環境面を整えた。

ヒヤリハット報告

No	ヒヤリハット内容	対応策
1	服薬時の利用者が施設外作業と勘違いし、服薬時間が遅れてしまった。	服薬時間の変更等による投薬間違いを防ぐため、投薬担当とは別に最終確認する職員を配置する。

苦情の集計件数

今年度の苦情は 0 件であった。

苦情種別・申出人の集計

申出人	苦情	その他
利用者	0	0
家族	0	0
代理人	0	0
職員	0	0
その他	0	0
合計	0	0

作業報告

【生活介護】作業種目・内容

作業種目	作業内容
株式会社マスク	箸入れ作業では、箸のナイロン入れを行う。 新型コロナウイルス感染症による外食産業への影響はあったが、緩やかに回復傾向にあり前年度に比べ受注量増となった。企業からの受注目標を達成していくことで、利用者の作業のペースや正確性も高まり、安定した生産をしていくことが出来た。

【生活介護】作業売上

工賃支給：作業を通じて得た収入から必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支給し、利用者個々の能力とモチベーションアップに努めた。

月	株式会社マスク
4 月	54,055
5 月	46,550
6 月	46,645
7 月	58,520
8 月	65,455
9 月	52,440
10 月	39,520
11 月	72,580
12 月	60,420
1 月	34,010
2 月	63,080
3 月	59,470
合 計	652,745

単位：円

【就労継続支援 B 型】作業種目・内容

作業工程の見直しや補助具の製作することで作業効率の向上を図り、個々の能力や特性を活かすことで工賃向上へ努めた。

下記の作業を通じて得た収入から、必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支給した。施設内作業に加え、施設外作業にも出向する事で地域との関わりや、一般常識等の取得にも繋げた。

作業種目	内容	受注業者
受託事業	パンフレット封入等の DM 作業	・ デイリー印刷 ・ 船場印刷
製造・販売事業	仕込み、配達、店舗出向等の作業	・ お惣菜の店「ごりんや」
空缶等回収販売事業	アルミ缶回収、プレス、古雑誌等の納品等の作業	・ 進路工業 ・ 三共スチール ・ 安田商店 ・ 日進興業
公園管理事業	除草、清掃等の施設外就労作業	・ ヤマサ蒲鉾 ・ 大塩海岸 ・ 播備 ・ 西川建材 ・ 益田人事労務事務所 ・ 一般家庭 ・ フロンティア ・ ガラスコーティング ・ 新栄ビルメンテナンス ・ ルシクラージュ

【就労継続支援 B 型】過去の平均工賃額

年度	平均工賃
2018 年度	26,046 円
2019 年度	30,614 円
2020 年度	35,555 円
2021 年度	36,064 円
2022 年度	35,379 円

【就労継続支援 B 型】作業売上

単位：円

月	受託事業	製造・販売事業	空缶回収販売事業	公園管理事業	合計
4 月	134,952	1,088,889	217,965	0	1,441,806
5 月	96,210	1,528,031	143,076	4,000	1,771,317
6 月	271,600	1,051,281	203,440	870,171	2,396,492
7 月	114,420	1,193,347	103,500	957,116	2,368,383
8 月	244,890	1,246,655	244,500	2,312,108	4,048,153
9 月	227,652	1,237,447	112,260	664,509	2,241,868

10 月	137,450	1,612,622	249,480	555,084	2,554,636
11 月	311,959	1,462,367	219,212	74,736	2,068,274
12 月	231,500	1,647,203	47,892	528,883	2,455,478
1 月	179,034	1,053,116	415,500	0	1,647,650
2 月	159,200	1,252,963	0	385,944	1,798,107
3 月	193,160	1,443,827	112,500	602,589	2,250,826
合計	2,302,027	15,817,748	1,968,075	6,955,140	27,042,990

クラブ活動報告

2022 年度は前年度同様に講師を招いて「絵画クラブ」「音楽クラブ」「和太鼓クラブ」を実施している。

1. 絵画クラブ

【目的】色使いや形において「自分の好きな様に」という講師の考えの元、個性を活かす事を目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
西ノ原 菜於美	月 2～3 回	10 時～12 時	利用者

2. 和太鼓クラブ

【目的】表現する喜びと楽しさを感じてもらう。また自立心の向上、責任感・協調性を養う事を目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
民謡集団 鯨	毎月第 3 金曜日	13 時～15 時	利用者

3. 音楽クラブ

【目的】心身のリラックス、表現力を養う事で自分の意思や感情を表せられる様になる事を目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
磯部 千晶	毎月第 1・3 金曜日	10 時～12 時	利用者

4. レッツゴークラブ

【目的】施設乗用車を使用し、ドライブや公園の散策を行った。施設の外に出ることで普段と違った景色を見ることで、リフレッシュや気分転換を目的として実施している。

講師	実施回数	時間	参加者
施設職員	毎月 2 回	10 時～12 時	利用者

共同生活援助 チャレンジ（介護サービス包括型）

2022 年チャレンジは、日中活動の定着、サテライト型住居への移行、誕生日外出・単独外出訓練、移動支援事業所の利用等、ひとりひとりの希望に寄り添いながら個別支援・個別対応に重点を置き支援を提供した。2 名の男性利用者がコロナウイルス感染症に罹患したが、ふあむ的形で自室隔離、療養を行うことで感染拡大を防ぐことが出来た。1 名がサテライト型住居へ移行したことにより、定員が 11 名から 12 名に増員となった。事業計画で重点目標として挙げていた項目は下記の通りに実施した。

① 余暇活動の充実

利用者ひとりひとりの希望を取り入れ、誕生日外出や単独外出の練習、移動支援事業所の利用などを実現した。利用者の自己選択、自己決定を尊重し出来る限り希望を形にできるよう利用者と職員が一緒に立案し、実行した。外出の際は、感染症予防対策を徹底し安心して過ごせるように努めた。

② 個別支援の強化

個別支援計画に基づき、障害特性、年齢、生活環境を考慮しながら利用者ひとりひとりが必要としている支援を検討し提供した。モニタリングやアセスメントを実施し、必要に応じて支援内容を変更することにより、利用者がより良い生活を送れるよう努めた。一人暮らしを切望していた 21 歳男性に対して、より一人暮らしに近い生活を送れる「サテライト型住居」への移行を実現した。支援の幅を広げると共に、1 日を通して統一した支援が提供できるよう各関係機関との連携を強化した。

③ 健康管理

日々の検温、体調確認に加え定期的にバイタル計測を実施。顔色や表情、話し方など些細な変化から体調不良を見抜けるように日常的な健康状態の観察に努めた。利用者の不調を確認した時は看護師に相談し、必要に応じて医療機関を受診することで早期治療に努めた。また、関係機関と情報を共有することで、利用者の体調変化に対し早急に対応できる体制を整えた。

④ 感染症対策

感染予防	・手洗い、うがいの励行 ・手指の消毒 ・接触頻度の多い場所の消毒 ・マスクの装着 ・換気
体調管理	・利用者、職員共に毎朝の体温計測実施 ・体調不良時指定病院の受診

上記内容を徹底して実施していたが、2023 年 1 月に男性利用者 2 名がコロナウイルス感染症に罹患した。

⑤ 災害・緊急時の対応

「命を最優先に行動する」を基本とし、年 2 回（9 月・3 月）避難訓練を実施し、避難経路、避難場所の確認を行った。また通報や消火訓練も行い利用者、職員の安全意識向上に努めた。居室や共有スペースに緊急時や火災時の連絡先を掲示し、迅速な対応が出来るよう日頃から声かけを実施した。外部へ消防設備（自動火災報知設備・誘導灯・消火器）の点検を依頼し実施した。

⑥ 虐待防止対策

法人で定められている倫理綱領や行動規範を職員全体に周知し職員の意識向上に努めた。職員間の情報共有や連携に併せ、関係する事業所や保護者の面会など風通しの良い環境を整えることで虐待防止に繋がった。また、虐待防止委員会に参加し、職員への研修を実施した。

短期入所事業

2022 年 4 月～2023 年 1 月は満床であるため短期入所事業は実施していない。2023 年 2 月以降は定員 1 名の空きがあったが、短期入所事業利用者は 0 名であった。

共同生活援助事業所 所在地

名称	住所
チャレンジ大塩	姫路市大塩町 119 番地 2 エルドラド 101 202
ふあむの形	姫路市の形町の形 1768 番地 27

職員勤務体制

職員	人数
管理者	1 名
サービス管理責任者	1 名
看護師	1 名(兼務)
生活支援員	4 名
世話人	4 名
夜勤者	5 名

利用者状況

定員と現員

定 員	現 員		
	男 性	女 性	合 計
12	7	4	11

年齢別利用者数

年齢（歳）	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～
人数	0	3	2	1	5	0

利用者平均年齢

	男 性	女 性
最小年齢	21 歳 6 カ月	26 歳 3 カ月
最高年齢	55 歳 5 カ月	57 歳 3 カ月
平均年齢	38 歳 2 カ月	48 歳 3 カ月
男女平均年齢	41 歳 10 カ月	

障害支援区分

支援区分	1	2	3	4	5	平均
人数	0	2	4	4	1	3.3

療育判定区分

療育判定	B2	B1	A
人数	2	4	5

【一般就労（3名）】日中活動状況

勤務先	人数	勤務内容
(株) イオンリテール (イオン姫路店)	2	カート回収
(株) 黒田製作所	1	製造業

【その他（7名）】日中活動状況

日中活動先	人数	内容
あぼしりサイクル事業所 (就労継続支援 A 型)	1	分別作業
太陽の郷 (生活介護)	1	軽作業等
太陽の郷 (就労継続支援 B 型)	3	受託作業、製造販売作業等
若葉福祉作業所 (就労継続支援 B 型)	1	軽作業等 (自動車部品組立等)
あろは (就労継続支援 B 型)	1	解体作業 (パチンコ・パチスロ台)

医療機関受診状況

通院状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	2	1	2	1	1	2	3	4	4	4	4	30
呼吸器内科	3		4	1	2	1	3	1	1	1	1		18
消化器胃腸科												1	1
精神科	4	4	2	3	4		3	1	2	3	4	3	33
神経科	1		1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	13
整形外科							2	2		3	2	2	11
耳鼻咽喉科	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	2	16
皮膚科	3	1	4	5	5	4	2	4	4	5	2	5	44
歯科	4	1	1	1					1			2	10
外科			3		1								4
糖尿・内分泌科		2	1										3
予防接種						9	3	4		1	1	1	19
合計	18	11	18	15	15	19	17	17	15	19	17	21	202

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
中村整形外科（嘱託医）	整形外科	高砂市北浜町西浜 282-4	079-254-5533
姫路第一病院	内科・外科 整形外科・循環器科	姫路市御国野国分寺 143	079-252-0581
高砂西部病院	総合病院	高砂市中筋 1 丁目 10 番 41 号	079-447-0100

利用医療機関

医療機関名（50 音順）	診療科	所在地	電話
あだちこども診療所	神経科	加古川市加古川町美乃利 465-1	079-423-2567
安積外科胃腸科医院	消化器胃腸科	姫路市砥堀 45-1	079-264-1155
いのうえ皮ふ科	皮膚科	姫路市別所町佐土 2 丁目 61	079-252-4112
井野病院	耳鼻咽喉科	姫路市大塩町汐咲 1-27	079-254-5553
魚橋病院	精神科	相生市若狹野町若狹野 235 番地 26	0791-28-1395
栗原整形外科	整形外科	姫路市別所町別所 1684-5	079-253-8376
県立加古川医療センター	糖尿・内分泌科	加古川市神野町神野 203	079-497-7000
山陽内科クリニック	内科	姫路市飾磨区清水 2 丁目 31	079-235-0385
仁恵病院	精神科	姫路市野里 275	079-281-6980
寺田内科呼吸器科	内科・呼吸器科	姫路市城東町五軒屋 3-6	079-285-0111
土井医院	内科	姫路市の形町の形 1761-20	079-254-0732
中野診療所	皮膚科・内科	姫路市白浜町甲 2138	079-246-0501
中村整形外科医院	整形外科	高砂市北浜町西浜 1208-75	079-254-5533
播磨大塩病院	精神科	姫路市大塩町 1096	079-254-0321
姫路聖マリア病院	総合病院	姫路市仁豊野 650	079-265-5111
みやけ内科・循環器科	内科・循環器科	姫路市大塩町宮前 1 番地	079-254-5175
山本歯科	歯科	姫路市大塩町宮前 28 番地	079-254-6966
よしだ耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	高砂市荒井町扇町 14-13	079-443-0335

職員研修報告

期日	研修名	場所	参加者
9 月 27 日	発達サポーター育成講座 for family	オンライン研修	柴田
10 月 25 日	発達サポーター育成講座 for family	オンライン研修	柴田
11 月 22 日	発達サポーター育成講座 for family	オンライン研修	柴田
11 月 25 日	令和 4 年度グループホーム研修会	姫路市総合福祉会館	柴田
12 月 13 日	発達サポーター育成講座 for family	オンライン研修	柴田

1 月 24 日	発達サポーター育成講座 for family	オンライン研修	柴田
2 月 13 日	障害福祉サービス等事業者運営適正化支援事業 研修会「感染症」	姫路市市民会館	柴田
2 月 27 日	発達サポーター育成講座 for family	オンライン研修	柴田
3 月 13 日	発達サポーター育成講座 for family	オンライン研修	柴田

相談支援事業所 ふらっと

相談支援事業は利用者や保護者の希望を踏まえたうえで目標や課題を共有し、活動の場・利用頻度などの計画を立てコーディネートする役割を担っている。

概要報告

同一家族(きょうだいで障害を持った家族)からの相談や、セルフプランで福祉サービスを利用していた児童の保護者からの依頼が増加した。これは相談支援事業所の減少や相談員不足が大きな要因のひとつとなっていた。コロナ禍の制約が多い中で自宅訪問や面談を行い、利用者との意思疎通を図った。また家族の思いにも耳を傾けることで利用者や家族との信頼関係の構築に努め、本人中心となる計画相談を立ててきた。また、より良い支援を行っていくためには、事業所のサービス管理責任者や児童発達支援管理責任者、担当支援員との連携が必要である。お互いに情報共有を徹底することで利用者にとって本当に必要な支援を提供することが出来た。

利用対象者

- 障害福祉サービスまたは地域相談支援を利用するすべての障害者
- 障害福祉サービスを利用するすべての障害児

事業内容

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という。）に規定される「特定相談支援事業」の業務を通じて適切に実施した。

- ① 計画相談支援の提供
- ② サービス等利用計画の作成
- ③ モニタリングの実施
- ④ 利用者からの相談
- ⑤ 苦情処理に関する業務

サービス提供時間

- 火曜日、水曜日 9時～15時

職員勤務体制

職員	人数
管理者	1名（常勤兼務）
相談支援専門員	1名（常勤兼務）

相談実績

【相談方法状況】

相談方法	相談件数
訪問（自宅）	126
合計	126

【障害別状況】

障害名	人数
知的障害	33
精神障害	4
発達障害	76
その他	13
合計	126

【相談内容】

内容	件数
サービス利用等	117
保育・教育等	9
合計	126

職員研修報告

期日	研修名	場所	参加者
5月20日	相談支援事業所全体会	姫路市総合福祉会館	綿野
6月1日	相談支援事業所事例検討会研修	姫路市総合福祉会館	綿野
7月8日	相談支援フォローアップ中播磨圏域研修	姫路総合庁舎福祉センター	綿野
10月4日	相談支援部会研修会	オンライン	綿野
10月11日	障害者虐待対応力向上研修	オンデマンド	綿野
11月24日	相談支援部会研修会	オンライン	綿野
12月23日	障害児相談支援研修会	姫路総合福祉会館	綿野
1月16日	兵庫県福祉事業所における災害時BCP	Zoom	綿野
1月24日	身体拘束をしない支援	姫路市市民会館3階	綿野
2月27日	災害と事業継続計画	Zoom	綿野

放課後等デイサービス オリオンまとはた

2022年度の事業計画にて重点目標として掲げていた内容について下記の通り実施した。

- 「支援の質の向上」について、絵カードコミュニケーションを多く取り入れ児童の自己表出の幅を広げ、またスケジュールの導入や空間の構造化により先の見通しを立てた。必要に応じてトークンエコノミー法といった支援方法も取り入れ、児童のやる気やモチベーションを高める支援も大切にしてきた。継続して実施することで、児童の表出バリエーションや自己肯定感の向上は目に見えて分かるようになってきたと思う。また、北摂杉の子会の堀内氏から強度行動障害支援における知識や支援技術を学べたことはより良い支援を考える上で大きな分岐点となったと感じる。その他、兵庫教育大学大学院 井澤信三教授を招聘し、五倫会主催・姫路市後援で「放課後等デイサービス向け研修会」を年3回開催した。応用行動分析（ABA）を基礎から学び、今後へ繋がる取り組みとなっている。
- 「人材育成」について、事業所内での勉強会を特に多く取り入れ知識の向上へと繋げた。支援の質の向上と比例して人材も育ってきていると感じている。人員配置や、収益関係においてもその都度話することで意識づけた。職員ひとりひとりに発言の機会を多く持たせることで支援と経営の両面においての提案や自発的な行動が増えてきた。
- 「情報収集」について、上記記載の「放課後等デイサービス向け研修会」の開催を機に、姫路市障害福祉課との繋がりや、障害児福祉における情報共有等、関係者で繋がりを作ろうと考える「児童のネットワークづくり」の話し合いの場にも声がかかるようになった。それぞれが考える課題や、将来こうなって欲しい等の内容共有や前向きな発信方法等を共に考えていこうという取り組みである為、今後、横の繋がりや様々な情報を獲得できると思う。その他、サービス開始前の事業所見学や相談等、積極的に受けることで、地域の状況を獲得出来るようにも努めた。支援学校以外の学校との関わりをあまり持つことが出来なかったことが反省点であり今後の課題である。

学校別利用者数

(単位：人)

学校名	男児	女児	計
姫路特別支援学校	17	8	25
東はりま特別支援学校	5	0	5
大塩小学校	2	0	2
的形小学校	2	1	3
糸引小学校	1	0	1
妻鹿小学校	1	0	1
別所小学校	0	1	1
谷外小学校	1	0	1
曾根小学校	0	1	1
四郷学院	1	0	1
城山中学校	2	0	2
合計	32	11	43

市町村別利用者数

(単位：人)

性別	姫路市	高砂市	加古川市
男児	25	4	1
女児	10	1	0
合計	35	5	1

契約者数：43名 契約日数：延べ309日

月別利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受入実績	213	213	208	223	208	228	212	244	222	198	206	231	2606
受入可能	260	230	250	260	250	250	240	260	250	230	240	270	2990
差	-47	-17	-42	-37	-42	-22	-28	-16	-28	-32	-34	-39	-384

日課

視覚支援を取り入れることで、児童の動きや表出の仕方が明らかに変わってきた。一日の流れのなかで、見通しが立たずに不安な様子を見せる児童においても比較的安定した状態で活動に取り組めることも多くなってきたと感じる。そういった支援を全体活動、個別活動へ個々の特性に応じて導入し、児童達がしっかりと療育を受けられるように努めた。

学校終了後スケジュール

時間	学校終了後
14:30	学校迎え・随時来所 手洗い・検温・健康チェック
15:00	個別活動・全体活動
16:30	おやつ 余暇時間
17:15	帰る準備
17:30	帰宅

休校日スケジュール

時間	休校日
10:00	自宅迎え・随時来所 手洗い・検温・健康チェック
10:30	個別活動・全体活動
12:00	昼食
13:00	個別活動・全体活動
15:30	おやつ・余暇時間
15:45	帰る準備
16:00	帰宅

音楽活動

【目的】外部より講師を招き、実施をした。音楽を聴きリズムを取ることで体を動かしたり、自身でリクエストした曲を聴くことで、心身をリラックスさせる等した。

講 師	教室日	時 間	参加者
高谷優子先生	月2～3回	14:30～15:30	利用児童・職員

行事等実施報告

外出や調理実習等を積極的に提供し、経験や体験を多く積んでもらえるように努めた。

期 日	行事内容	場 所	担当者
4月9日	利用児外出	にゅうにゅう工房	藤中、森
4月23日	ハヤシライス作り	事業所内	藤中、森
4月29日	利用児外出	太陽公園	藤中、森
6月8日	フルーチェ作り	事業所内	藤中、梶
7月9日	利用児外出	神戸どうぶつ王国	藤中、梶、森
7月18日	クレープ作り	事業所内	藤中、梶
8月19日	利用児外出	にゅうにゅう工房	藤中、梶
8月31日	かき氷作り	事業所内	藤中、村上

9月13日	白玉団子作り	事業所内	藤中、梶
9月17日	どでかフルーツゼリー作り	事業所内	藤中、梶、森、福本
9月28日	プリンミクス作り	事業所内	藤中、梶
10月1日	ホットケーキ作り	事業所内	梶、藤中、森
10月10日	ケーキ作り	事業所内	藤中、蔭西、森
10月12日	シャーベック作り	事業所内	藤中、梶
10月29日	ハロウィンパーティー	事業所内	梶、藤中、蔭西
11月3日	買い物学習	ミスタードーナツ	梶、蔭西、福本
11月9日	クッキー作り	事業所内	藤中、梶
11月18日	買い物学習	駄菓子屋（菊川商店）	藤中、蔭西
11月19日	利用児外出	にゅうにゅう工房	藤中、蔭西
11月23日	利用児外出	アンパンマンミュージアム	梶、藤中
12月22日	ホットケーキ作り	事業所内	藤中、蔭西、森
12月23日	クリスマス会	事業所内	藤中、蔭西、福本
12月27日	しめ縄作り	事業所内	藤中、蔭西、森、福本
12月29日	買い物学習	ミスタードーナツ	藤中、蔭西、森
1月28日	焼きそばパン作り	事業所内	梶、藤中、蔭西、森、福本
2月10日	利用児外出	防災プラザ	藤中
2月11日	利用児外出	しあわせの村	梶、蔭西、藤中、森
2月14日	バレンタインチョコ作り	事業所内	藤中、蔭西、米澤、村上み
3月18日	利用児外出	カップラーメンミュージアム	梶、森下、蔭西、森

職員研修等報告

その都度必要と感じる議題や学びたい内容を挙げての事業所内勉強会を中心に実施した。それに対する外部からの学びも入れながら知識習得に努めた。法人主催の勉強会も開催することが出来、今後も継続していく予定である。その他、義務化された職員へ対する虐待防止研修においても確実に実施している。児童のケース会議においてはその都度実施。

期日	研修内容	場所	参加者
4月8日	自立課題等について	オリオンまのがた	村上、梶、藤中、古川
4月22日	支援会議	オリオンまのがた	村上、梶、藤中、古川
5月6日	絵カードコミュニケーション等	オリオンまのがた	村上、梶、藤中、古川
5月18日	応用行動分析・発達検査	オリオンまのがた	村上、梶、藤中、古川
5月20日	近畿地区施設長等会議	京都	村上
6月22日	支援会議	オリオンまのがた	村上、梶、藤中、古川
7月15日	支援会議	オリオンまのがた	村上、梶、藤中、古川
7月19日	施設見学	はにーばん kids	村上
9月8日	支援会議	オリオンまのがた	村上、梶、藤中、古川
9月20日	障害者の就労支援について	オリオンまのがた	村上、梶、藤中、古川
9月28日	支援会議	オリオンまのがた	村上、梶、藤中、古川
10月21日	視覚支援等について	オリオンまのがた	村上、梶、藤中、蔭西、古川

11月1日	放課後等デイサービス向け研修	姫路市市民会館	村上、梶、蔭西、古川
11月9日	課長勉強会	太陽の郷	村上
11月22日	放課後等デイサービス向け研修	姫路市市民会館	村上、梶、藤中、蔭西、古川
11月23日	オリオン合同研修会	オリオンあなせ	村上、梶、蔭西、藤中
11月30日	ケース会議	オリオンまのがた	村上、梶、藤中、古川
12月13日	感染症勉強会	オリオンあなせ	村上、梶、藤中
1月22日	強度行動障害研修会	オリオンあなせ	蔭西、梶
1月23日	人が成長する任せ方のコツ	オンライン	村上
2月6日	施設見学	日の出医療福祉グループ	村上、蔭西
2月7日	理事・評議員研修	オンライン	村上
2月7日	虐待防止研修	太陽の郷	村上
2月20日	虐待防止研修	オリオンあなせ	村上、梶、藤中、蔭西
2月27日	放課後等デイサービス向け研修	姫路市総合福祉会館	村上、梶、藤中、蔭西、森
3月1日	児童ネットワーク会議	オンライン	村上

資格所得者

該当者なし

事故・ヒヤリハット

事故、ヒヤリハットともに無し

事故内容	件数
怪我・転倒	0
その他	0

ヒヤリ内容	件数
転倒・怪我	0
その他	0

苦情の状況集計

苦情は0件であったが利用後の忘れ物が数件あり、迷惑をかけることがあった。児童を送り出す際の忘れ物確認をする職員を決め、職員同士の声掛けによる未然防止を対策として実施する。

苦情種別・申出人の集計

申出人	苦情	その他
利用者	0	0
家族	0	0
代理人	0	0
職員	0	0
その他	0	0
合計	0	0

放課後等デイサービス オリオンあなせ

放課後等デイサービスとして、子どもにとって安心・楽しく過ごせる環境を整えた。継続して学習や身辺自立の練習、卒業後は作業所を目指す児童も多いことから個別のプログラムを実施した。子ども一人ひとりに合わせた関わりを心がけ、特に配慮の必要な子どもやその家庭の状況を職員同士で把握し支援に反映することが出来た。

保護者様からの口コミもあり、空き状況の確認の問い合わせも多く定員いっぱいを受けることもできたが、予約変更や当日のキャンセルも多かった。4月よりオリオンまのがたと統合になるが、保護者支援はもちろん、他事業所との繋がりも重要と考え、より一層の努力をしていく。

開所日数及び利用状況

(2023年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	26	25	26	26	26	25	24	26	25	24	24	27
延べ人数	228	215	231	199	204	218	220	215	196	201	211	218
稼働率(%)	87.6	86	88	76.5	78.4	87.2	91.6	82.6	78.4	83.7	92	80.7

活動内容

- (1) 日常生活訓練：活動の中で日常生活に必要な基本的動作の習得をするための支援を行った。（食事、排泄、更衣等）
- (2) 社会適応訓練：公共施設や公共機関の利用、集団活動を通してその場に応じた行動が出来るような支援を行った。（図書館、買い物、公園等の利用）
- (3) 創作活動：様々な活動を提供し、その中で好きな活動を見つけ、自分で選んで参加をしたり、仲間と一緒に楽しんだりすることが出来るように活動を行った。（工作、絵画、音楽、調理等）
日頃の活動を披露する場として、「どんぐりの里」の作品展に参加させてもらった。
- (4) 相談：相談支援事業所や地域の通所支援事業所、教育機関等と連携しながら家族等の相談援助を行った。（個別面談の実施、担当者会議への参加）
- (5) 送迎：サービス実施地域内において、学校、自宅への送迎サービスを行った。

行事等実施報告

自分らしさを発揮・生活の場面においても、遊びの場面においても、子どもたちが自分から考えたことを表現し、行動できるように環境を構成すると共に、自分らしくのびのび過ごせる時間と空間を大切に出来るように努めた。

期日	行事内容	場所	担当者
4月6日	調理実習	オリオンあなせ	甲斐、妹尾、藤井
4月29日	外出	やまさ蒲鉾	甲斐、妹尾、塚本
7月16日	外出	夢前 櫃蔵神社	甲斐、妹尾、松川、藤井
7月19日	調理実習	オリオンあなせ	甲斐、塚本、藤井
8月12日	買い物学習	サーティーワン	甲斐、妹尾、藤井
8月16日	ミニ夏祭り	オリオンあなせ	甲斐、妹尾、塚本、藤井

8月30日	調理実習	オリオンあなせ	甲斐、妹尾、塚本、藤井
11月3日	外出	赤穂高木農園(みかん狩り)	甲斐、妹尾、塚本、松村、藤井
12月23日	クリスマス会	オリオンあなせ	甲斐、塚本、妹尾、松村、松川、藤井
12月24日	クリスマス会	オリオンあなせ	甲斐、塚本、松村、藤井
2月7日	買い物学習	井上書林	妹尾
2月7日	外出	カフェ＆レストラン ポラリス	甲斐、藤井
2月9日	調理実習	オリオンあなせ	妹尾、松村、福本
2月14日	調理実習委	オリオンあなせ	甲斐、妹尾、松村
2月21日	調理実習	オリオンあなせ	甲斐、松村、藤井

職員研修報告

質の高い支援の提供や職員の育成のため研修に参加し、職員の資質向上に努めた。定期的にケース会議を実施し、全職員が利用児童、家族やその他取り巻く環境等の情報を共有することで、サービス内容の見直しや支援の統一に取り組んだ。

強度行動障害研修を受けて、私たちでは気が付かない違った視点からの助言・指導をもらうことで、支援の中で感じていた違和感や支援の方法を振り返り、職員の意識にも変化が出てきた。構造化のため棚の設置や移動、絵カード等の準備等は大変であるが「先ずはやってみよう、駄目だったらもう一度考えたら良いよね」という言葉が聞かれるようになったのは大きい。

期日	研修名	場所	参加者
5月30日	虐待防止研修（動画）	オリオンあなせ	妹尾、甲斐、塚本、藤井
6月16日	保護者の心をつかむ	オリオンあなせ	妹尾、甲斐、塚本、藤井
7月19日	施設見学	はにーばん kids	妹尾
9月9日	強度行動障害と障害特性の理解（動画）	オリオンあなせ	妹尾、塚本、甲斐、藤井
9月20日	障害者の就労支援について	オリオンまとがた	妹尾
9月21日	福祉施設職員感染症対策研修（zoom）	オリオンあなせ	妹尾、藤井
9月29日	虐待防止研修	姫路市役所北別館	甲斐
11月10日	目の前の障害の捉えかた（zoom）	オリオンあなせ	妹尾
11月29日	施設見学	三木光司園	妹尾
12月13日	感染症対策研修（法人内研修）	オリオンあなせ	妹尾、甲斐、塚本、松村、藤井
1月16日	自然災害に対する対応（オンライン）	オリオンあなせ	藤井
2月6日	施設見学	日の出医療福祉グループ SORATO UMIE	妹尾
2月27日	放デイ向け研修	姫路市総合福祉会館	妹尾、甲斐、松村、藤井

- ・防災訓練 自主避難訓練を年2回実施。
- ・職員会議 月1回のペースで利用者状況の確認・活動の見直しを行った

資格所得者

2022年度は該当者なし

事故・ヒヤリハット

事故報告の1件は送迎車とタクシーの衝突事故である。

詳細：3月2日

17:58 事故発生

18:00 110番通報。乗車児童、運転手、タクシーの運転手の怪我の状況を確認。本部へ報告などの事故対応を行う。

18:45 応援職員が乗車児童を自宅へ送り事故報告を行う。自宅送迎完了の報告を受け管理者より保護者に謝罪・事故状況報告・児童の様子を聞く。

19:20 管理者と森本課長で自宅訪問し改めて謝罪。

3月3日

児童宅へ連絡を入れ様子を聞く。受診に行かれたが特に目立った怪我や痛みの症状は無いと聞く。

※姫路市障害福祉課へ事故発生・報告書提出する。

送迎はただ安全運転をすればよいだけではなく、運転をしながら利用者の様子を観察・決められた時間に送迎・ご家族から受けた話を報告などマルチタスクが必要である。マルチタスクは注意力不足やエラーを引き起こす状態を作る為、リスクが高い。リスクが高いことをよく理解し、心と時間に余裕を持ち送迎業務にあたるようにする。

事故内容	件数
交通事故	1
その他	1

ヒヤリ内容	件数
転倒・怪我	0
その他	1

苦情・相談の状況集計

2022年度の苦情は0件であった。ご家族から送迎時等に学校や他事業所での様子・対応について相談を受けることがあるが、その場で伝えるが、直ぐに答えることが難しい時は事業所に戻ってから電話連絡やLINEなどで対応した。「保護者と一緒に成長をサポートする」という意識をもち信頼関係構築に努め、知り合いの方にオリオンを宣伝していただけることもあった。保護者との信頼関係が築けると、仕事もより楽しく、充実したものになりコミュニケーションスキルも向上する。今後も保護者とより良い関係を築けるよう努める。

苦情種別・申出人の集計

申出人	苦情	その他
利用者	0	0
家族	0	0
代理人	0	0
職員	0	0
その他	0	0
合計	0	0